



# 知的夢工房

第167号

平成27年1月11日

定例会  
毎月第1日曜

発明工夫、アイデア、知的財産を楽しむ会

発行 知的夢工房

TEL 050-3344-5032 熊本

あけましておめでとうございます



## “ファッション”も“発明”も「動詞でデザイン」?!

寒～い正月でしたが、皆さん初詣などどうでしたか？  
私は、寒さでブルブルふるえながらもなんとか藤崎宮などに参拝しました。

実は、昨年末に日本経済新聞(2014年12月21日)を読んで“あれっ”と思った事があったので紹介します。記事は若い人のファッション関係のもので、タイトルが「“何を着る”が“どう着る”へ」でした。この記事を読んでいたら、現在私たちが崇城大学の本間康夫先生(芸術学部教授)にご指導頂いている「名詞ではなく動詞でデザイン(考える)」というキーワードを思いだしたのです。ファッションの分野でも、発想が名詞的な“何を”から動詞的な“どう”へと変わって来ているのだなあ～と感じたのです。

日経新聞によれば、若い人のファッションは「特定のひとつのブランド品で上から下まで揃える“何を着る”か」の時代から、今は「特定のブランドにとらわれずにごく自然体で服や雑貨を選びそれを“どう着る”か」の時代へ、即ち“何を”から“どう着こなすか”の時代に変わったという事です。

本間先生からは、モノづくりにはデザイン思考が大切で、図1に示す様に4つのプロセスがあり、そのサイクルを回して商品の良さを顧客に伝えて初めて買ってもらえるし、更にそのプロセスでは“名詞”ではなく“動詞”でデザインする(考える)事が大切であるなどのご指導を頂いています。

(図-1)デザイン思考4つのプロセス



よさが伝わったものが売れる

(“名詞”とはモノや製品、結果等を、“動詞”とは行動や日常生活上のいろいろなつながりなどを意味するという事です)。

私たちも、ファッションの世界に負けない様に、発明デザインに際しては“動詞的発想”をもっと取り入れ、図1のデザイン思考プロセスのサイクルもしっかりと回し、売れる商品作りにチャレンジしましょう！例えば、本会では発想力を豊かにするための「キーワード発想勉強会」をやっていますが、そこで使用のサブキーワードには動詞や形容詞、副詞などを使用する事もひとつの方法ではないでしょうか？

お客様の“あったらいいなあ～、あんなもの、こんなもの”のニーズは日進月歩です。私たちも、単に「何を発明するの？」から「どう役立つの？」などの多様な発想にも挑戦し、ストーリーのある商品づくりを目指しましょう！

(黒田 武)



< 知的夢工房への入会のお誘い >



< 発明工夫好きの人 大歓迎！ 一緒にヒット商品を！ >

< 定例会：毎月第1日曜日 13時～17時 > < 年会費：6千円 >

連絡先：050-3344-5032 ホームページ：知的夢工房 <http://www.yume.ch/>

